

ゆうわプロジェクト

【箕島中学校・文成中学校・保田中学校】

福祉の視点から中学生が実現可能な地域への貢献を考え、実践することをテーマに、総合的な学習の時間に「ゆうわプロジェクト」に取り組んでいます。この学習は、市内3中学校の生徒が協働して取り組む学習で、3中学校の生徒が交流しながら取り組んでいます。また、有田市社会福祉協議会など、多方面の地域の多くの団体等の力をお借りして学習を進めています。

【2年生】

昨年学習した「福祉」というテーマに対して、今年度は地域の企業・事業所と連携・協働し、「持続可能な有田市への地域貢献」を目指して、自分たちで考えたテーマについて具体的な解決策(アクションプラン)をまとめ、発表しました。主に、次のようなアクションプランが発表されました。

- ・ドローンを使った有田市の魅力(自然や文化)の紹介
- ・(廃棄されている)みかんを使った新しい商品の開発
- ・有田市のPRアイテムの作成
- ・有田市民のつながりの活性化
- ・公民館の活性化と広報活動
- ・スマホ講座(使い方のサポート)
- ・防災教室
- ・地元企業とコラボしたPR作戦



【1年生】

●「未来の就職説明会」

地域の企業・事業所(25社)にご協力いただき、就職説明会で交流を行いました。



【生徒感想(抜粋)】

- ・いろいろな仕事の内容が理解できた。
- ・利益を追求するだけでなく、企業理念や社会貢献を目指していることも知ることができた。
- ・仕事に対するやりがい、将来の生きがいなど、自分のこれからの生き方を考えさせられた。

【企業・事業所の感想(抜粋)】

- ・子どもたちの仕事に対する関心、意欲が高まると感じる。
- ・最近の子どもたちの考え方に触れることができた。
- ・従業員の刺激になり、仕事の意欲が高まると思う。
- ・後継者の育成につながる。
- ・地域貢献の取組として、地域の信頼度が高まる。



●「赤い羽根募金を活用した地域課題の解決策についての発表会」

1年間、福祉について学習してきたことをもとに、自分たちの住む地域の課題について考え、その解決策を具体的にまとめ提案しました。

《提案》「有田市の特産品を世界一おいしい非常食にしてみた」

「やってみよう！防災対策」

「有田市民大運動会」

「じいちゃん、ばあちゃん仲良しプロジェクト」

「福祉と有和中学校(有和中学校の文化祭)」

「みんなの秘密基地(市民の交流拠点)」

